

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	銚田市訪問型家庭教育支援チーム
②活動拠点	銚田市教育委員会生涯学習課
③活動範囲	銚田市内
④組織体制	5 人
⑤活動開始年度	平成 29 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 銚田市教育委員会生涯学習課 (TEL)0291-37-4342 (E-mail)gakusyu@city.hokota.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☒自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ・家庭教育学級生対象の子育てアンケートへの回答をもとに、希望する保護者の相談を聞いたり、情報提供を行ったりする。 ・就学時健康診断に合わせて開催する「学童期子育て講座」において、保護者同士のグループワークのファシリテーションや講座講師を務め、保護者と交流を図り、就学前の保護者の安心感につなげる。 ・子育て講座に参加できなかった保護者の自宅を訪問し、講座の資料提供や就学に向けたお祝いを伝える。 ・外国籍家庭の支援においては、必要に応じて、子ども家庭課と連携する。 ・幼稚園や学校からの個別の支援の要請に応じる。 ・月に一度ケース会議を開き、支援員の資質向上のための研修や相談業務の質的改善を図る。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・毎年、子育てアンケートにおいて相談希望があり対応している。 ・数年にわたり支援をしている家庭の保護者は、支援員との対話を重ねる中で、子育てに前向きになったり、落ち着いて対応したりできるようになるなど、成長している様子が見られる。 ・幼稚園や学校における事業の認知が広がり、個別に支援要請がくることが増えた。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()